

5月19日(木) 18:30~

会場：Zoom 及び国労会館大会議室



第167回定例研究会

誰でも参加できます

Zoomで参加の方は
前日までに連絡ください

若者の社会に対する 意識と現地点

報告：中澤 秀一 氏

(静岡県立大学短期大学部 准教授)

これからの企画

◆第168回定例研究会

日時…6月16日(木) 18:30~

場所…国労会館会議室&Zoom

内容…「ジョブ型雇用と
テレワーク」

報告…榊原雅樹氏

(JMITU通信労組) 他

◆第11回中間総会&記念講演

日時…8月6日(土) 13:30~

場所…静岡県産経会館&Zoom

内容…「入管をめぐる問題」(仮)

報告…指宿昭一氏(弁護士)

「知識の9割はツイッターから得る」

労働総研では「若者の仕事と暮らしに関する実態調査」を実施しました。調査の目的は、若者の仕事と暮らしの実態を把握し、労働組合への結集の条件を探ることです。調査はアンケートで、2019年に全労連加盟の単産や地方組織等の組合員や周辺の非組合員を対象に回答を得ました。また聞き取り調査を2021年に実施しました。

社会に関して情報を得ているメディアについて、最も多かったのがインターネットで73.2%、次にテレビ・ラジオが63.9%、SNSは49.8%、新聞・雑誌は41.0%でした。20代についてみると、SNSが57.7%、新聞・雑誌が34.2%でした。20代の聞き取り調査では、「自分の知識の9割がツイッターから得ている」という回答もありました。